

「学びの教室」

駒本小学校特別支援教室直通電話 3827-5575 (ファクシミリ兼用)

通信

令和3年9月27日
 特別支援教室「学びの教室」
 巡回指導拠点校・通級指導校
 文京区立駒本小学校
 校長 吉岡 淳
 文京区立汐見小学校(巡回校)
 校長 永井 昌美

読書の工夫

最高気温は高い日があるものの、だんだんと本格的な秋の気配が近づいてきました。秋と言えば、よく「読書の秋」と称されますが、お子さん達の中には「読書がキライ」さらには「字を読むのがつらい」という読みの弱さから、本を読むことに苦手感をもつ子もいるのではないのでしょうか。

さて、そんな読書に苦手感があるお子さんのために、あるご家庭では、オーディオブックを活用されているそうです。オーディオブックとは、プロの声優やナレーターの朗読で読書を楽しむ、いわゆる「耳で読む本」です。有名なECサービスでは、オーディブルというサービス名で、「宮沢賢治童話全集」、ミハエル・エンデ「モモ」、「ハリーポッター」など、子ども達が興味をもちそうな児童書をラインナップしています(ちなみに「モモ」は、高山みなみさんがナレーターを務め、再生時間はおよそ13時間!)

ただ、民間の商業ベースのオーディオブックはそれなりの料金がかかります。無料交換が可能なケースもありますが、お子さんがそのタイトルを気に入らなかった場合のことを考えると、少し躊躇してしまうかも知れません。

一方、似たようなサービスを文京区立図書館でも行っており、こちらは、区立図書館の利用カードさえ持っていれば誰でも使えます*。先にオーディオブックで聞いてから紙の本を読んでみる、オーディオブックで聞きながら紙の本のページをめくってみる、様々な使い方ができると思います。特別支援教室の利用児童の中には、オーディオブックで夏休みの読書感想文を仕上げた子どももいるようです。借りに行く手間や返却忘れのリスクもありません。一度、お子さんと一緒に区立図書館のWebサイト**をのぞいてみてはいかがでしょうか。



一度、お子さんと一緒に区立図書館のWebサイト**をのぞいてみてはいかがでしょうか。

*商業ベースのものはデータファイルをダウンロードしてオフラインでも使えるタイプがありますが、区立図書館のオーディオブックはストリーム配信なので、Wi-Fiなどインターネットに接続した環境でしか使えません。また、対応しているブラウザである、Google Chrome、Firefox、Internet Explorer、Microsoft Edge、Safariが搭載されているパソコンやスマホが必要です。

**https://www.lib.city.bunkyo.tokyo.jp/kids/news/index_175.html

<10月のコミュニケーションタイムの主な学習予定>

「危険な運び屋」

・身体の各部位の協応を高めるほか、自己の行動を抑制する力を向上することをねらいます。

「私はだれでしょう」

・○×で答えられる質問を考えたりそれに答えたりする活動を繰り返すことで、言語の受容と表出に関する能力を高めます。

「パーソナルスリーヒントゲーム」

・短期記憶やワーキングメモリーの向上を図るとともに、「注意」をなるべく持続させるトレーニングです。学習指導要領「自立活動」 2. 心理的な安定 3. 人間関係の形成 4. 環境の把握 6. コミュニケーション